

令和4年8月18日

瀬戸市議会議長
水野 良一 様

瀬戸市

プラスチック製容器包装の分別に資源物指定袋をできるだけ使用しない施策などを求める陳情書

陳情の趣旨

瀬戸市は、プラスチック製容器包装の分別の施策を如何に重視してこなかった経緯を述べることで、陳情事項を緊急な課題であることを分かっていたいただき、実施項目の実現を願います。

昨年実施された「ごみ袋の有料化」についての市民説明会などで、「ごみ減量化が進まないのはなぜか」、「尾張旭市、長久手市が実施をしているのに、何故しなかったのか」など市民から率直に質問・意見などが多く出ました。市から「減量化が進まなかった大きな要因にプラスチック製容器包装の分別があった説明がありました。

「瀬戸市一般廃棄物処理基本計画（平成26年度～35年度）の準備、作成する当時から瀬戸市の解決すべき課題の一つとして「可燃ごみ中に含まれている容器包装プラスチックの量をみながら、分別収集に向けて検討を行なう必要があると『一般廃棄物（ごみ）処理基本計画・後期計画：平成21年度～25年度、尾張東部衛生組合・瀬戸市・尾張旭市・長久手町』で確認をされていました。

しかし、「瀬戸市一般廃棄物処理基本計画」では、基本方針を実現するための施策の体系の中で、早期かつ重点的に取り組む必要の項目から外されて「容器包装プラスチックの資源化に向けた検討」という位置付けでした。また、「家庭ごみの適正負担の検討として、家庭系のごみの処理コスト・処理手数料徴収に関する検討が盛り込まれました。

この「瀬戸市一般廃棄物処理基本計画」は、平成24年10月に瀬戸市環境衛生審議会会長にたいして諮問をお願いして、平成26年3月に瀬戸市環境衛生審議会会長から答申を瀬戸市長が受けました。

その答申の中で、本計画の推進にあたっては下記の事項に配慮することを要望しますと述べています。その一つに、容器包装プラスチックについて、発生から収集から廃棄に至る一連の過程における環境負荷を考慮し、効率的かつ効果的な分別、収集の導入を検討することを求めています。

それであれば、2年前の10月に「広報せとに『ごみ非常事態宣言』とされて、伊藤市長が「我が家のごみ、みんなでチェック」することを呼びかけられました。その内容は、燃えるごみの中に資源化できる紙類や食べられる食品が混ざっており、まだまだ減量の余地がある状況ですと話されました。しかし、プラスチック製容器包装の資源化



回収を一言も言われませんでした。

また、それより1年前（令和元年）に「我が家のごみ、みんなでチェック」市民との懇談会（8会場）開催されたときも、平成30年度の組成調査結果が示されて食品ロス混入率8%、紙類混入率15%あると説明がありました。

当時から、瀬戸市は、ごみの減量が進まない大きな理由を承知していたのかかわらず、黙認を続けてきた責任は重いと思います。同時に、行政サービスを市民にする施策を怠った姿勢の反省もなく、自覚をしないまますすめることについて、どうかと思っています。

今すすめられているプラスチック製容器包装の分別の市民説明会は、各自治連合会が開催する町内会長・衛生委員への対応と、個別に各種団体の申し出による説明を8月、9月にしています。

これだけの市民説明会で、昨年実施されました「ごみ有料化の説明会」やパブリックコメントが出された質問・意見に応えるために、町内会（自治会）単位まで説明会を実施することにより、ごみ減量化に向けて取り組みを前進することができます。

そのためにも、職員の説明要員が大変不足しますので、職員からボランティアを募集して体制を整えることが必要になります。

瀬戸市ごみ減量推進本部の会議で、本部長（副市長）から市民生活部の問題だけでなく、市全体の問題として全員で取り組むよう協力をお願いすると述べられ、この視点を忘れずに実行していただきたいと願っています。

2番目は、プラスチック製容器包装の分別回収に、「資源物指定袋」に入れて資源物回収場所に出すこととなります。

尾張旭市、長久手市と同様な取扱いを参考にしているようですが、県下では「資源物指定袋」が無しの江南市や民間の敷地等を借りて日常的に回収をしているみよし市などがあります。

江南市は、252か所のごみ収集ステーションに、回収用コンテナ等（月2回）を配置しています。みよし市では、「リサイクルステーションみよし」を利用できるようにしていて、開設時間を午前10時から午後6時まで（土曜日・日曜日・祝日もやっています）です。場所は、駐車場二カ所、公園の駐車場一カ所で開設されています。

そうした先行している市を参考に、今年度内に品野支所、水野支所、幡山支所の駐車場を使用して、午前6時30分から8時30分まで、月2回の回収日に試行的に実施を行なっていただけませんか。

来年度以降は、開設できる地域・場所を決めて「資源物指定袋」なしで、市民の負担をなくし、無駄なプラスチック袋をなくすことを期待しています。

陳情項目

- 1、プラスチック製容器包装の分別回収などの説明会は、町内会（自治会）まで瀬戸市が責任をもって開くこと。同時に、ごみの減量化の意見交換をすること。
- 2、今年度内に品野支所、水野支所、幡山支所の各駐車場を使用して、午前6時30分から8時30分まで、その地域の月2回の回収日に試行的に実施をすること。

なお、陳情趣旨の分かりやすい参考資料など、後日、委員に届けさせていただきます。